

令和8年度現任保育士研修「相談・支援研修」開催要項

1 目的

保育者にはこどもの健やかな成長を支えることに加え、保護者の子育てを支えるという役割があります。本研修は、支援者としての姿勢について自身の姿を振り返るとともに、相談・支援に必要な基礎知識と技術を学ぶことを目的とします。

2 受講対象者

県内の保育所、認定こども園、地域型保育事業（小規模保育事業、家庭的保育事業及び事業所内保育事業）及び認可外保育施設（企業主導型保育事業を含む）に勤務し、保育経験が3年を超える保育士又は保育教諭

3 日時と場所

	日 時	会 場
A 日 程	令和8年10月23日（金）	まなウェルみやぎ 名取市美田園二丁目1-4 3階 第1・第2研修室 Tel: 022-784-3580
B 日 程	令和8年10月28日（水）	

4 スケジュール及び講師等

別紙のとおり

5 定員

各日程60人（先着順）

6 申込方法等

（1）施設内での人数調整

各保育施設で、日程ごとに受講者を調整のうえ、お申し込みください。

申込は各保育施設からA日程・B日程についてそれぞれ1人ずつお申込みできます。

（2）みやぎ電子申請サービスを利用した申込

ア 申込手順

- ① 迷惑メールフィルターを使用している場合は、「@logoform.st-japan.asp.lgwan.jp」からの電子メールを受信できるよう、事前にドメイン登録を行う。
- ② メールアドレスを入力後、案内メールに記載されたURLから申込フォームを開く。
- ③ 所属名、連絡先等を入力し、送信する。
- ④ 受信完了後に届く受付メールに記載された受付番号は、問い合わせ時に必要となるため、必ず保管する。

イ 申込用のURL（QRコード）

申込みは、下記のURL又はQRコードからアクセスしてください。

URL： <https://logoform.jp/form/GQGB/1698502>



QR コード

(3) 申込期間

令和8年7月27日（月）午前9時から8月24日（月）午後5時まで

ただし、定員に達した場合、申込期間内であっても受付を終了しますので、予め御承知おきいただき、お早めにお申込みください。

※定員に達した際は、電子申請画面に表示されます。

(4) 受講決定

本研修は先着順で受講者を決定します。受講の可否については、令和8年8月31日（月）までにみやぎ電子申請サービスから電子メール（アドレス：no-reply@logoform.st-japan.asp.lgwan.jp）で御連絡いたします。期限が過ぎても電子メールが届かない場合にはお問い合わせください。また、受講決定後に辞退される場合は、速やかに御連絡をお願いいたします。

A日程では、事前課題があります。受講者決定の通知文とともに課題をお伝えします。

7 参加にあたっての留意事項

- (1) 受講申込書に記載された氏名等の個人情報は、受講者名簿の作成のみに使用し、本人の同意なく第三者に提供することはありません。
- (2) 当センターが入居する「まなウェルみやぎ」においては、併設する「クリニック」や「リハビリテーション支援施設」の患者様等が利用する駐車場を常に確保するため、研修受講者は駐車場を利用できない取扱いとなっております。公共交通機関等の御利用をお願いします。
- (3) 感染症対策に御協力をお願いします。
 - ・ 当日、体調不良の方は受講を御遠慮いただく場合があります。
 - ・ 会場では適宜換気を行います。温度調節がしやすい服装で受講してください。
- (4) 異常気象や災害などにより研修を中止する場合は、電子メールにてお知らせします。
- (5) この研修は、保育士等キャリアアップ研修ではありませんので御留意ください。

宮城県子ども総合センター

担当：企画育成班

こんぼる
今春・大槻

TEL：022-784-3580

FAX：022-784-3596

E-mail：kodomss-kenshu1@pref.miyagi.lg.jp

【別紙】

当日のスケジュール・講師等について

宮城県子ども総合センター

1 当日のスケジュール

受付	9 : 3 0 ~ 9 : 5 0
開会	9 : 5 0 ~ 1 0 : 0 0
講義	1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0
講義・演習	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
閉会 連絡事項・アンケートの記載	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 2 0

2 講師、講義・演習内容

< A日程 >

「保育者の専門性を意識した保護者への保育相談支援のあり方」

聖学院大学 講師 上野 直子 氏

この研修では、日々の保護者との関わりを通じて、保護者の「思い」や「生活」に目を向けていくことの意味、やりとりを通じたアセスメントについて学んでいきます。

保育者の専門性について改めて理解を含め、「保護者からの相談にどう対応するか」「保護者支援をどう考えるか」、支援の演習も行いながら、相談・支援の基本的な考え方・技法についても学んでいきましょう。

< B日程 >

「現代の子育て家庭に対する相談・支援の在り方」

尚絅学院大学 心理・教育学群 子ども学類 学類長（教授） 前田 有秀 氏

保育現場における保護者への相談・支援においては、現代の家庭が抱える様々な問題やニーズ、現状を的確に捉えた上で対応していく必要があります。

前半は、現代の子育て家庭が置かれている現状と課題を理解し、保育施設における相談・支援の基本や姿勢について、さまざまな事例を通して理解を深めていきます。後半は、連絡ノートを活用や園全体で効果的に支援を行うためのポイントや保育ソーシャルワークの事例を紹介しながら、現代の子育て家庭への相談・支援の在り方について具体的に・実践的に理解していくことを目的とします。

最後にグループワークの時間を設け、自園での実践や課題を共有し、多様な対応方法について意見交換を行います。本研修を通して、日々の保育実践に生かせる対応力を身に付けることを目指します。

3 持参物

筆記用具、昼食

追加がある場合には、御連絡いたします。

4 その他

A 日程では、事前課題があります。受講者決定の通知文とともに課題をお伝えします。